

情勢報告（令和3年1月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

地元で栽培されている食べ物を知ろう！

～土佐町小学校でユズ出前授業を開催～



ユズの鋭いトゲを体験する
児童

12月21日、普及所は土佐町小学校でユズ出前授業を開催し、児童24人が参加しました。

この出前授業は地元の特産品を知り、地域の農業に親しんでもらうことを目的に実施しました。嶺北産のユズが青果や加工向けに出荷されていること、鋭いトゲがあるため革手袋で収穫するなど説明した後、ユズにまつわるクイズや実際の枝を使った収穫体験も実施しました。

当日が冬至であったことから、管内の生産者から提供されたユズ玉を児童にプレゼントしました。

児童からは、「ユズのトゲが鋭いのにびっくりした」、「色々なものに加工されていることが分かった」といった感想がありました。

今後も普及所は、地域の農作物を知ってもらい愛着を持ってもらえるよう、出前授業や食育活動等の取り組みを継続していきます。

花木有望品目を紹介 ～就農に向けて～



ナンテンの栽培を習う
新規就農希望者

1月7日、管内のセンリョウとナンテンのほ場で、新規就農希望者2名を対象に視察研修しました。

新規就農希望者は林業や畜産業と組み合わせる品目を探索しており、普及所からは比較的作業が簡単で、年末需要に向けて出荷するセンリョウとナンテンを紹介しました。近年の温暖化から、平坦地域では着色が遅れていますが、中山間地域では気温の日較差が大きいため着色が良好で、有望品目として期待できます。

新規就農希望者からは「実際に作物を見たのでイメージでき、ナンテンに興味を湧いた」と前向きな意見が聞かれました。

今後も、普及所は新規就農者への支援を継続していきます。

よりよい農業をめざして ～GAP・土壌消毒勉強会～



GAPについて学ぶ

1月13日、大豊ゆとりファームでGAPと土壌消毒の勉強会が開催され、8名が参加しました。普及所からGAPの取り組みとして整理整頓のメリットや農作業安全に関する事故事例について紹介しました。参加者は機械作業の危険についての動画を真剣に見ていました。

その後、ファームで実際に起こった事故や現在の農業機械使用状況と注意点について意見交換しました。また、土壌消毒について、適した時期に実施できるよう圃場利用計画を作成しました。

今後も、普及所はGAPの推進や中山間複合経営拠点の支援に取り組んでいきます。

顧客の目にとまる商品 P R を！ ～POP の作り方勉強会～



POP 作成のポイントについて
熱心に耳を傾けるスタッフ

1月15日、「道の駅とささめうら」で高知県6次産業化プランナーを招いてPOPの作り方勉強会が開催され、店舗スタッフ3人が参加しました。

この勉強会は道の駅の販売力向上に向けて普及所が企画したもので、当日は各スタッフへのアドバイスなどプランナーと連携して実習を支援しました。

プランナーからPOP掲示の効果や「魅せるPOP」と「売るPOP」の違い、作成のポイントを学んだ後、実際に販売されている商品を使ってPOPの作成を実習しました。

スタッフからは、「POPはどれくらいのサイズがいいのか?」、「字がヘタだが、手書きで大丈夫か?」など活発な質問が出されました。

今後も、POP掲示の効果を検証するなど、魅力ある売り場づくりへの支援を継続します。

地域活性化と棚田の存続を目指して！

～棚田支援金贈呈式開催～



棚田支援金贈呈の様子

1月16日、本山町みらい創造協議会は、本山町さくら市にある「おむすび処こめのみみ」で棚田支援金の贈呈式を開催し、関係機関25名が参加しました。

同支援金は「こめのみみ」でおむすびが1個売れる毎に、ブランド米「土佐天空の郷」生産農家を支援する棚田支援金として10円ずつ積み立てたもので、約14万円が贈呈されました。

普及所は、おむすび新商品開発や店舗レイアウトのプランニング等を支援しています。

当日は、本山町で栽培されたパプリカを使って嶺北高校生が開発した「パプリカからみそ」のお披露目会も同時に開催され、吹奏楽部の「パプリカ」の演奏が華を添えていました。